



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

地域学校協働活動 令和6年7月17日(水)実施
南相馬市立原町第一小学校訪問「職業について学ぼう」

南相馬市立原町第一小学校「職業について学ぼう(総合的な学習の時間)」について

南相馬市立原町第一小学校では、今年度から地域学校協働本部を立ち上げ、今回が第1回目の活動になりました。

原町第一小学校は、昨年度創立150周年を迎えたことに関連して学校や地域の歴史について学びました。今年度は151年目として、地域の未来の姿にも目を向けようと考えました。そこで、担任や地域連携担当教員から地域学校協働本部へオファーがありました。

しかし、地域で頑張っている企業の姿から、子どもたちの未来につながるキャリア育成をしていきたいという担当の教員の思いはありましたが、学校と企業をつなぐことは担当の教員だけでは難しいものでした。しかし、コーディネーターや地域学校協働担当教員、協働本部のスタッフが手探りの中から今回の学びの場を設定し、活動当日を迎えることになりました。



訪問レポート

今回の学習に参加して下さったのは、南相馬市内の4つの企業です。子どもたちは、製造業や農業、食品関係と様々な種類の仕事を知ることができました。

○藤倉コンポジット株式会社

以前はゴムを中心とした製品を作っていましたが、現在はゴムや金属、カーボン等の様々な素材をコンポジット(複合化)した製品を作っています。特に南相馬工場で作っているもので子どもたちが興味を持ったのが、ゴルフクラブのシャフトでした。ものすごく軽くて、しかし強度があり、多くのプロゴルファーにも使われているということに驚いていました。

○株式会社タカワ精密

精密な金属加工やロボットの製作を行っています。子どもたちは、お客様からのオーダー以上の製品に仕上げることを心がけていたり、原子力発電所の廃炉作業のためのロボットを開発したりしていることに感心していました。その素晴らしい技術は安倍元首相が視察に来るほどで、ロボットの街になりつつある南相馬市の子どもたちにとっては、興味が尽きないようでした。

○有限会社高ライスセンター

たった10名で、244ha という広さの土地を管理し、米や麦、大豆を作っています。しかも2年3作というローテーションで安定した仕事量を確保し、多珂うどんという名物も作っています。さらに、令和4年の農業水産祭では天皇杯を受賞しております。ドローンを使ったスマート農業を実践し、「農業をしてみたい人が農業をしている会社」というところに子どもたちは関心をもちました。最先端の農業に触れ、農業のイメージが変わったようでした。

○株式会社松月堂

100年以上前から地元を代表する銘菓や、伝統的な和菓子などのお菓子を作り続けています。今回は実際に和菓子作りの技を披露しながら、お菓子職人になる方法や苦労ややりがい等の話をさせていただきました。中でも、伝統だけではなく、地域性や未来の姿を取り入れたお菓子の開発を続けているということに、子どもたちは目を輝かせていました。機械化もあり、少なくなってきた和菓子伝統の技を、継承してくれる子がでてくるかもしれません。

◎まとめ

1度にこれだけの企業に集まっていたら学習することは、学校だけではかなり大変ですが、地域協働本部が力を発揮し、素晴らしいキャリア教育を展開していました。地域学校協働活動として地域の力を有効に使って学びを進めることができている原町第一小学校の姿は、様々な学校や協働本部の参考になると感じました。

